



2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

写真提供：松之上 匠会員

Rotary  **倉敷南ロータリークラブ**
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中殿6丁目6-17

第 2965 例会 R. Song 「奉仕の理想」 天候：曇り No.2965/2024. 6. 7

Guest 澤原一志様（高梁市成羽美術館 館長）

Visitor 古和様（岡山後樂園）、大久保様（倉敷）、ファムトゥイリンさん（米山）

出席 会員数 60 名（うち出席規定免除者 16 名②名⑥14 名）

6/7 の出席率 67.92%（出席者 36 名、内⑥9 名）

欠席 安藤、浅見、石本、栗元、草野、三宅(繁)、中川、沼本、滝川、渡辺(英)、
山本(英)、山本(勲)、山本(真)、柳沢、横田、吉住、井手、各会員（17 名）

●土井会長

- ・日本では高血圧症患者は全国で約 4,300 万人いると言われています。そして 60 歳以上では半数以上の方が高血圧症になっています。高血圧が何故悪いかというと、血圧の上昇に伴い脳卒中や心筋梗塞の発生率が高くなっていくことです。そして、特に注目されているのが血管性の認知症の発生率で、これも血圧の上昇によって高くなってきます。
- ・80 歳代後半迄は診察室で 130～80 以下、家庭血圧で 125～75 以下の血圧を推奨しています。血圧測定（手首ではなく腕に巻いて測るものが良い）は毎日行ってください。また、測るタイミングは朝と夜の 1 日 2 回、朝は起床後 1 時間以内食事前に、夜は寝る前に。
- ・一番問題なのは、夜間に低下した血圧が早朝に急上昇する早朝高血圧（モーニングサージ）で、このモーニングサージがある人の内 54% は脳内に無症候性の脳梗塞があるようで、脳卒中や心筋梗塞の発症リスクが高いと言われています。
- ・高血圧の予防や改善には生活習慣の見直しが必要です。塩分を控える（薄味に慣れること）。野菜・果物を食べる（カリウムが血圧を下げる）。そして適度な運動（毎日 30 分程度）、節酒、禁煙を心掛け、適正体重（BMI＝体重÷身長²、25 未満）を維持する。これらを全て実行するのは難しいと思いますが、少しでも工夫して実践して頂きたい。

●幹事報告（山本幹事）：6 月のロータリーレートは 1 ドル 157 円。他来信 9 件。

●親睦家族委員会（神先委員）

・6 月のお誕生日：篤田(晴)、青井、井上、山本(真)、山本(英)、各会員 5 名

●雑誌記録委員会(中西委員長):ロータリーの友の6月号の記事紹介

●スマイル報告(小田 S. A. A) ※紙面の都合上、内容を一部割愛しております。

- ・岡山後樂園 RC 幹事古和様より:土井会長様、山本幹事様、1年間お疲れさまでした。先々週に小林様メーキャップを有難うございました。成羽美術館長澤原様の卓話を楽しみにしています。
- ・プログラム委員会(和田(務)、亀岡、石田、流田、各会員):成羽美術館澤原館長様の卓話を楽しみにしております。美術への興味、手引きをお願いいたします。
- ・石田会員:倉敷 RC 大久保様の訪問歓迎。ロータリー活動を色々学ばせてください。
- ・土井会長、小田 SAA, 山本(由)幹事:①岡山後樂園 RC 幹事古和様、倉敷 RC 大久保様のご来訪を歓迎して②高梁市成羽美術館長澤原様のお話を楽しみにしています。
- ・高田会員:成羽美術館澤原館長さんのお話を楽しみにしております。
- ・永井会員:澤原さんようこそお越しくださいました。卓話を楽しみにしています。
- ・吉住会員:素敵な花束を誕生日にお送りいただき有難うございました。
- ・横道会員:妻の誕生日に素敵な花束を有難うございました。

●プログラム卓話:「(児島)虎次郎—TORAJIRO 西洋画をもたらした一人の画家の物語」

高梁市成羽美術館長 澤原 一志 様

- ・倉敷と非常に縁の深い児島虎次郎が亡くなったのは1929年(享年47歳)です。その翌年の1930年に、大原孫三郎は虎次郎が収集してきた西洋の名画を中心とした大原美術館を建設しました。1926年に大原孫三郎が建てた倉敷中央病院の中の温室は虎次郎が設計・施工したものです。更に大原美術館の前にある今橋も1926年に天皇の倉敷訪問に合わせて、虎次郎が設計・施工したものです。ヨーロッパを中心に世界各国の建物や石の橋を観てきた虎次郎だからこそ出来た工事で、欄干には20体の龍(中国の皇帝のしるし)が彫られています。建設費は当時のお金で5万円(大原美術館の総工費が10万円)を要した全国に誇れる橋です。酒津に虎次郎が住んでいた家(無為堂)とアトリエ残存。
- ・現在、高梁市成羽美術館で展覧会を実施しています。虎次郎が亡くなって95年を機に改めて虎次郎とはどんな人物だったのか? どんな人生を歩んだのか?と企画しました。
- ・虎次郎は画家として、「登校」(成羽で制作)、「なさけの庭」(最高賞を受賞、宮内庁蔵)、「里の水車」(大原美術館蔵)などが、出世作となりヨーロッパに行くきっかけとなりました。虎次郎の絵は、47歳の若さで亡くなったことや書いた絵をあまり売ってこなかったことから、殆ど市場に出回っておらず、市場評価はそれほど高くありませんが、今後間違いなくその評価が高くなっていくと思います。
- ・大原孫三郎は石井十次の影響で基督教の洗礼を受け「世のため人のため我が財産と我が一生を捧げる」と決意しています。また虎次郎にとって十次は義父にあたり、その薫陶を受け、自分のためではなく世のために夢を追ったのだと思っています。

例会プログラム予定:6月14日(金)イニシエーションスピーチ 神先 公二 会員
6月18日(火)歓送迎会・新旧引継ぎ夜間例会 18:30~ 倉敷アイビースクエア